

授業科目		教育課程ナンバー	時間割コード	開講期	単位数(時間数)	必修・選択
哲学と倫理		BNNBS1L15	10301	1前	2(15)	選択
担当教員	豊川 祥隆					
概要	<p>「哲学」や「倫理」という言葉は、私たちの日常のなかで時折登場しますが、どこか難解な響きがあります。その難しさは、「人間とは何か」、「知とは何か」、そして「私とは何か」といった根本的な疑問について、過去の人たちが本気で考え抜いた結果生じたものです。本講義では、特に「わたしとはどのような存在か」、そして「他者とどのようにかかわるべきか」という問題にかんして受けつがれている哲学や倫理に特有の思考を身につけてもらい、それをうけて、みなさん一人ひとりにはそれについてどう考えるかを提示してもらいます。最終的には、自分の考えを、レポートや論文として通用するような仕方発信することを目指します。本授業では、西洋思想の源であるデカルトの思想から出発しつつ、それとは異なる思想へと移行していきます。</p>					
学修目標	<p>①講義で紹介する(「わたし」と「他者」をめぐる)思想を理解する ②①で紹介した哲学的・倫理的な思想と、看護の現場との関連を把握する ③自分の力で哲学や倫理学の本を読む ④自分の考えを、他の人の思想と関連させて、合理的に発信できるようになる</p> <p>難しい話も出てきますが、できるだけ身近な例をもとに進めていきます。一緒にがんばっていきましょう。</p>					
DPとの対応	知をいつくしむ力		人をいつくしむ力		命をいつくしむ力	
	科学的論理的思考力		全人的人間理解	◎	職業倫理と人権擁護	◎
	探求力と生涯学習能力		ケアリングとコミュニケーション		適切な看護実践	◎
回	学修内容			予習・復習内容		
1	イントロダクション:「哲学」「倫理」とは?「看護」とのかかわり					
2	デカルト①:「わたし」とは誰だろうか?					
3	デカルト②:なぜデカルトは一人きりで考えたのか?					
4	ルソー①:わたしたちの「理性」、本当に信用できるのか?					
5	ルソー②:わたしたちは「自然」とどうかかわるべきか?			第2～5回の内容の感想を書いてもらいます		
6	インターミッション①:レポートの書き方					
7	J. S. ミル①:わたしたちはどこまで自由に行動できるのか?					
8	J. S. ミル②:本当に「迷惑をかけなければOK」でいいの?					
9	無意識の思想①:わたしたちの意識に現れないもの					
10	無意識の思想②:人の性のちがひ、そして診断についての考え方			第7～10回の内容の感想を書いてもらいます		
11	インターミッション②:実際にレポートを書いてみる					
12	ケアの思想①:「わたし」と「他者」のちがひとは?					
13	ケアの思想②:「他者」をケアすることと、その難しさ					
14	ケアの思想③:感情とルールをあいだに判断すること①					
15	ケアの思想④:感情とルールをあいだに判断すること②			第12～15回の内容の感想を書いてもらいます		
使用テキスト	授業資料のなかで適宜紹介します。最終的に、興味をもった考えや思想を扱う図書を一冊用意してもらい、それをもとにレポートを書いてもらいます。					
参考図書	授業資料のなかで適宜紹介します。また、「こうした考えに興味があるが、どういった本を読んだらいいか」といった質問も歓迎します。					
成績評価基準	授業参加50%、期末レポート50%					